

題材「台形と平行四辺形」（第1時）

1 本時の学習計画 ○時間中の第1時

(1) 学習のねらい

前回の授業で垂直や平行を用いて長方形をかけるようになった子どもたちが、自分たちで作った四角形を平行の数によって部類する活動を通じて、四角形は平行の数によって3つに分けられることに気づき、台形と平行四辺形の性質について理解することができる。

(2) 本時の学習材

自分たちで作った四角形を平行の数によって部類する活動

- いろいろな四角形を作った子どもたちは、どのような部類ができるかの発問によって、部類を考えていくたくなるだろう。そのような意識を捉えたところで学習材を提示する。
- 本学習材は、自分たちで作った四角形を平行の数によって部類する活動である。グループで活動することで、思考を深める効果があるとともに、量をこなすことで、台形や平行四辺形にたいしての理解を深める。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
展開	1 導入	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなところに、台形や平行四辺形があるかな？ ・台形は身の回りにあまりないな。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">学習問題</p> <p>台形と平行四辺形の性質について理解しよう。</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・日常にある平行四辺形や台形を挙げてみよう ・ICTを活用して掲示する。
	2 長方形と正方形の性質を復習しよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・直角が特徴だったと思うぞ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・長方形：四つの角が直角である四角形 ・正方形：四つの辺の長さが等しく、四つの角が直角である四角形
	3 四角形をかこう。	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな形の四角形ができそうぞ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な形の四角形が出てくるようにあらかじめ2本線を引くことや、こちらで数種類用意しておく。 ・前回まで、平行を学んでいたことを伝える。
	3-a 平行な辺に色を塗ろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・平行な辺があるものとなない四角形に分けられたぞ。 		
	4 平行の数で分ける	<ul style="list-style-type: none"> ・なるほど。平行の数で分けられるんだな。 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">学習材</p> <p>四角形を平行の数によって部類しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・平行の部分に色を塗って区
	<p>学習課題 四角形は平行の数によって3パターンに部類できることを確認しよう。</p>			

<p>終末</p>	<p>6 終末</p>	<p>平行四辺形や台形の定義について確認する。</p>	<p>分する作業を行う。 ・切る作業は時間がかかるので、記号で部類できるようにする。 平行四辺形: 向かいあう二組の辺がどちらも平行になっている四角形 台形: 向かいあう一組の辺が平行な四角形</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">評価</p> <p>平行四辺形と台形の違いに考えを巡らせることができたか。</p> </div>
-----------	-------------	-----------------------------	---

2 子どもと題材 (略)